

文部科学省私立大学戦略的基盤研究形成支援事業
「新規分子標的治療薬創薬に向けた大学発ベンチャー基盤の確立」
Annual Meeting-2019 報告書*

日時:2020年3月13日(金)13:30~17:15

場所:京都薬科大学 愛学ホール

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

本私立大学戦略的基盤研究形成支援事業プロジェクト「新規分子標的治療薬創薬に向けた大学発ベンチャー基盤の確立」では、9分野1センターから13名、広域大学知的財産アドバイザー1名と学外の3施設から3名、計17名が参画している。本プロジェクトは5年間のプロジェクトであり、発足後年2回の進捗会議を行い、2017年度には新規分子標的治療薬創薬に向けた4つの共同研究プロジェクトを立ち上げた。その後は共同研究プロジェクトごとの会議、年2回の進捗会議およびAnnual Meetingを行い、研究を展開してきた。

2020年3月13日に開催予定であった最終年度のAnnual Meeting-2019では、4つのプロジェクトの最終報告(口頭発表)、34件の個々の参画研究者の研究発表(ポスター発表)を行い、外部評価委員である京都府立医科大学 創薬センター センター長 酒井敏行特任教授、ならびに京都大学大学院 薬学研究科 薬品合成化学分野 高須清誠教授より最終評価を頂く予定であった。しかしながら、上記の通り新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったため、Annual Meeting-2019は講演要旨集をもって開催したとみなし、最終評価はAnnual Meeting-2019講演要旨集ならびに成果報告書により行っていただくこととした。

本プロジェクトは今年度で一旦の終了となるが、本プロジェクトにより得られた成果のさらなる進捗、ならびに全学を上げた共同研究への展開は基本的に継続する。そのために、不定期的になる可能性もあるが今後も新たな形での進捗会議をもち、知財の獲得、上市を目指した分子標的治療薬候補化合物の創製を続け、さらに新たな“知の創造”も目指して本プロジェクトを発展させていく。

文責:芦原英司(研究代表者)